



# 寝取らせられた巨乳若妻

～愛する夫の頼みで他人に抱かれ中出しされる美人妻～

私は結城菜穂<sup>ゆっきいなほ</sup>

高校卒業してすぐに今の夫と結婚して  
専業主婦となった平凡な主婦だ

夫は高校の先輩で

サッカー部のキャプテンをしていて  
かなり女子の間では人気があったが、  
特定の彼女がいなかった為

私が思いきって告白すると思いのほか  
すんなりと受け入れてくれて

晴れて付き合う事になり、

そのまま結婚まで至ったと言う所だ…

そうして私と夫は二人で幸せな結婚生活を  
送っていくハズだった…そう…

子供もたくさん作って幸せな家庭を…

でも、現実とは違っていた…

私はこの日もなぜか自宅のお風呂で私の愛する夫がビデオカメラを構える目の前で夫の会社の部下のおおむた大牟田という男性に私の性器を触られていた…

どうしたんすか菜穂さん？  
オシッコですよオシッコ  
早くして見せて下さいよ  
社長もカメラ構えて  
待ってるじゃないですか

二人っきりの時は  
ちゃんとしてくれたじゃないっすか  
ホラ〜やってあげましょうよ〜ね？  
きつと社長も喜ぶっすよ？

で…出来ません…そんな事…

ええ〜!?今更そんな事言うんすか菜穂さん？  
そんなわがまま言うんだったら  
こっちにも考えがあるっすよ？



オイ菜穂：今更小便するところ見せてやる位  
大した事ねえだろ？さっさとしろよ：な？  
俺の言う通りにしねえともうチンポハメてやらねえぞ？  
それでもイイのか？俺のチンポ無しでお前これから  
生きていけるのか？

ど：どうしてあなたいつもそうやって  
私をいじめようとするの？  
私があるなしじゃもう生きていけないの  
知ってるくせに：

うひひひひっ  
俺はお前のイヤそうな顔見ると  
ゾクゾクすんだよ

ひ：ひどいわ：

そう言いながら  
マ○コはヌルヌルなんだよなあ？  
ホントお前変態になったなあ？

んっ：や：クリはやめてっ：漏れちゃうからっ

だから漏らしちまえて言ってるんだろ？  
そんなに旦那の前で漏らすのが嫌なのか？

私たちが小声でヒソヒソ話をしていると、この男が勤めている会社の社長で私の愛する夫がニヤニヤしながら近づいて来た

オイオイ何だ？俺に内緒の話か？んん？  
夫は俺だぞ？そこんとこ忘れてねえだろうなあ？

イヤイヤ内緒の話なんて何も無いっすよ社長  
ただ早くしないと社長が待ちくたびれるんじゃないですか？  
言っただけっすよ

そ…そうなのよあなた  
だからその…何でも無いのよ

ふん？その割にはやたらヒソヒソ話が  
多くなかったか？ちよつと妬けるな

バカな事言わないで…私はあなたの妻なのよ？  
こんな事好きでやるワケないでしょう？



ところが今ではこう言う事も  
実は喜んでやっちゃう変態女に  
なっちゃったんすよねえ〜♪

ああっ!!?  
やっダメツ!!

何がダメなんすか?  
本当は見られて興奮してるんでしょ?

やっ：はあんっ♡  
お腹を押さないでっ：ああっ  
止まらないっ！

ああああ：見ないであなたっ

ほくお？勢いよく出るもんだな  
と言うか菜穂お前：大牟田と二人っきりの時は  
最初はあんなに嫌がってたのに

ジロロロ...

フニャッ



まあまあ社長くコレも社長に喜んで貰おうと思つて俺が菜穂さんに頼み込んでやってもらつたんすからあんま菜穂さんをいじめないでやって下さいよ

ふうん？大牟田はああ言つてるが  
そうなのか菜穂？本当はお前が  
やりたがつたんじゃないのか？

そんな事あるワケ  
ないじゃない…

くつくつく…まあイイ…  
それより俺はさつきからもうギンギンでな  
今すぐするぞ？イイな？

は…はい…あなた…

一体どうしてこんな事になつてしまつたのだろう…  
私はただ愛する夫と二人で幸せに暮らしたかった  
だけなのに…夫があんな事を言い出したせいで  
私と夫の関係はすっかりおかしくなつてしまつた…



それは、ある初夏の昼下がり...

私の愛する夫は、私にあり得ないお願いをしてきた…  
それは…

あなた何を言ってるの!?  
あの人に抱かれてくれってどういう事!?  
今日は結婚記念日のパーティーをするんじゃないの!?  
だからこんなドレスを着せたんじゃないの!?

そのドレスは俺じゃなくて  
アイツが買って来たもんだ

ええ!?

な…どうして…  
どうしてあなたの部下が  
私の服のサイズを知ってるの!?  
こんなピッタリの…まさか…

ああ…俺が教えてやったんだよ

そんな…どうしてそんな事を…

私には夫の言葉があまりにも唐突で衝撃的過ぎて  
夫が何を言っているのか全く理解出来なかった…



アイツにお前を抱かせてやるついたら  
ぜひ自分で選んだ服をお前に着せて  
抱きたいっつーもんでな…

あなた…それ本気で…!?

おうマジだぜ?超マジ♪

何を…考えてるの…あなた…

ああ?だから何回も言っただろ?  
俺はお前が他人に抱かれるのを見てみてえんだよ  
お前がどんな風にイカされるのかを見てえんだよっ



お：おかしいわよそんなのっ  
私はあなたの妻なのよ!?  
あなたは私が他の人に抱かれて  
何とも思わないの!?

思うぜ〜♪考えただけで超興奮するね〜♪  
だからよく早くアイツに抱かれてくれよ  
ビデオカメラも用意してあるからよ

そんな…そんなのって…

私に不満があるなら言ってくれれば  
何だってあなたの言う取りにするから  
そんな変な事言わないでっ  
ねっあなたっ

だからさあ〜それだよそれ  
お前さあ〜従順過ぎてつまんねえんだよ  
やれつつたら本当に何でもやりやがるしよ〜  
だから〜お前が嫌がる事何かねえかなあつて考えたら  
こうなつたつうワケだ



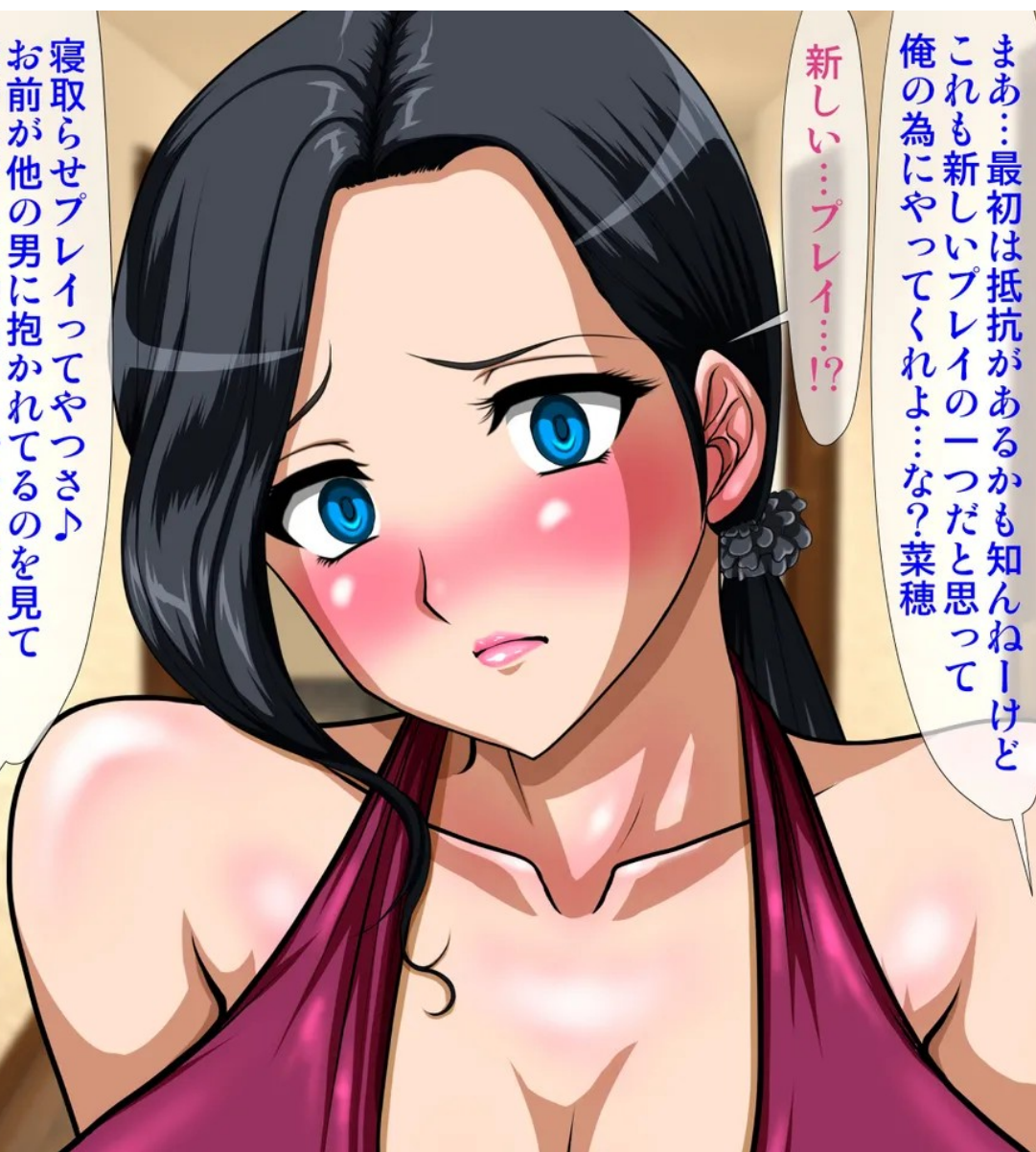
私は夫の言葉を聞いて益々頭が混乱してしまった…  
私が従順過ぎるからわざわざ嫌がる事を探した!!  
一体どういう事なの!?

まあ…最初は抵抗があるかも知んねーけど  
これも新しいプレイの一つだと思って  
俺の為にやってくれよ…な? 菜穂

新しい…プレイ…!?

寝取らせプレイってやつさ♪  
お前が他の男に抱かれてるのを見て  
俺が興奮して勃起すりやお前だつて  
子作りが出来るし一石二鳥だろ?

寝取らせ…プレイ…



そうそう♪あくまでもプレイさ  
お前がアイツと嫌々一発やっていると録画して  
終わったらそれを見ながら愛し合おうぜ？  
多分お前が犯されるとこ見たら俺興奮して  
超勃起すると思うんだよな。そしたら子作りもさ。

そっ…そんな…いくらなんでも  
本当にそんな事しないと勃起しないなんて…

でもよ〜最近俺のが勃起しないのは  
やっぱ刺激が足りねーからじゃねえかと思わねえ？  
それともアレかな？愛しの菜穂ちゃんは  
愛する夫がこれだけ頼んでも願いを聞いてくれない  
冷たい妻なのかな？

そっ…そんな言い方…

確かに…最近夫のモノが勃起しないのが気になっていた  
もしかして私のせいなのかと…でも…いくらなんでも…



なあ、頼むよ菜穂、結婚前も良く言ってたじゃんか  
「先輩が望む事なら何でもします」ってさあ？  
忘れたのか？なあ？もう俺の事愛してないのか？

先輩…酷いです…こう言う時だけ  
急に昔の事思い出させて…  
私いつだって先輩の事愛してるのに…

じゃあ俺の願い事聞いてくれるんだな？

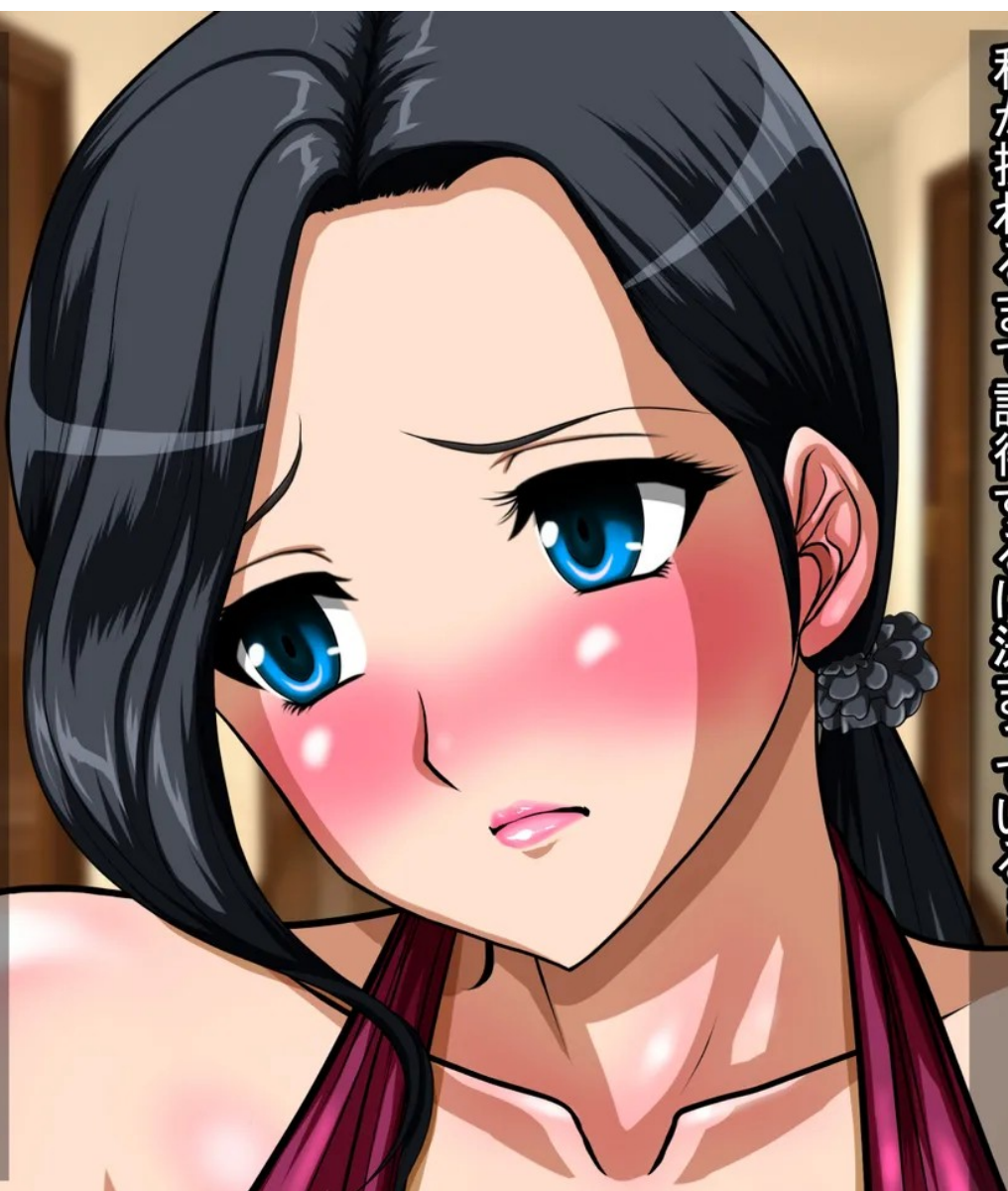
先輩は…私が先輩のお願いを絶対断れないの知ってて  
いつもそう言うんですよね…  
……わかりました……先輩の言う通りにします…  
それで先輩が私を愛してくれるなら…



こうして私は不本意ながら夫の願いを聞き入れ  
夫の会社の部下の男性に抱かれる事になってしまった

もちろん泣き叫んでイヤだと言い続ける事も出来るが  
夫は一度決めた事は絶対に変えないし  
私が折れるまで説得するに決まっている…

だったら…早めに諦めた方が夫の機嫌も損ねずに済む  
私はそう自分に言い聞かせて考える事を止めた…



そして...



私は来客用の部屋へ移動した…  
すると私を部屋で待っていた夫の部下の男性が  
軽く挨拶をするやいなや私のカラダをまさぐり始めた

社長く俺マジでうれしいっす  
憧れの奥さんが俺の買ったドレス着てくれるなんて  
夢みたいっすよっすよっすよっす  
あり得ないっすよマジで

お前が全部そうして欲しいって  
言っただろが

とおおむた  
と言うか大牟田…お前本当に  
うちの菜穂が好きなんだな  
お前の喜び方見るとあんまり喜びすぎて  
ちよつと引くぞ？マジで



私は夫とその部下の大牟田というこの男性の  
他愛もない話を憂鬱な気持ちで聞いていた…

おおむた

えくそりやないっすよ社長く  
こんなキレイな奥さんを抱けるんなら  
誰だってこうなりますっく

お前…あんまりはしゃぎ過ぎて  
菜穂にケガとかさせるんじゃないぞ？  
分かってんだらうな？

私は男のじつとりとした手汗を肩に感じながら  
なるべく何も考えないようにしていた…



しかし…大牟田おおむたというこの男の手は  
夫と会話をしながらでも少しずつつ私の大事な部分へと  
近づいて来ていた…

わかってますって社長っ  
俺は女の扱いに関しては  
自信あるんすから

ふん…良く言うぜ  
自慢の巨根で女を泣かせまくりって  
噂しか俺は聞いた事ないがなあ？

それはアレですよ  
噂つてのはあくまでも噂ですから  
本当の俺は紳士っすからマジで

紳士ねえ…

私は今まで感じた事の無いほどの緊張でカラダは震え  
頭の中は真っ白になっていった…



すると夫は緊張した私のそばを離れ  
正面に設置してあったビデオカメラの後ろにまわって  
撮影を始めてしまった...

あっ...あなたっ!!?  
これ...本当に撮影するつもりなの!?

当たり前だろ  
つうかもう俺は気にしないで  
お前は大牟田とのセックスに集中しろ

そんなっ

いくらなんでもあなたの目の前で  
そんな事出来るわけないじゃないっ

んん?じゃあ俺がいなけりゃ出来るのか?

そう言う事じゃ無くてっ

私にはニヤニヤしながらカメラをのぞき込んでいる  
夫の気持ちがどうしても理解できなかった...  
どうしてそんなにも私が他人に触られるのを  
嬉しそうに見る事が出来るのか...



オイ大牟田  
お前もやっぱ俺がいるとやりにくいかな？

ん〜そうっすね〜俺は全然大丈夫なんすけど  
奥さんがやっぱ緊張してるみたいっすね

そっか…じゃあ俺はちよつと外出してくるから  
終わったら連絡しろ…それでイイか？

俺はイイっすけど  
奥さんは？

あなた…本当にコレで満足するの？  
本当にコレでイイのね？

ああ…俺はどうしても見たいんだ

わかったわ…ならあなたの好きにして…  
私はあなたを信じてるから

そうして…私の愛する夫は私とこの男を部屋に残して  
出て行ってしまった…

いや〜やつと二人つきりになれたつすね〜  
やっぱ社長が目の前で見てるかと思うと  
キツイつすよね〜



ねえ菜穂さん  
俺の事菜穂さんは全然知らないかもしれないしねえいんすけど  
俺は菜穂さんが会社のパーティとかで  
社長と一緒にいるとこ見てマジで一目ぼれしちゃったんすよ  
それからもうオナニーのオカズもずっと菜穂さんだったし  
アダルト動画とかも菜穂さん似の女優探したりとかして〜  
ホントもう頭の中は菜穂さんでいっぱいだったんすよ

私はこの時かなりヤケ気味になっていた…  
する事を済ませて早く終わらせたい気分だった…

あの…先にシャワーを…浴びさせてもらえませんか？

はい？シャワーっすか？

ええ…その…ちよつと汗もかいてしまったので

なるほど…じゃあ一緒に浴びましょうか？  
何なら俺がカラダを洗ってあげますよ

けっ…結構です  
一人で出来ますから

まあそう言わずに  
せっかく今日からセフレになるんだし  
仲良くしましょうよ、ね菜穂さん？

わっ…私はセフレなんかにな  
るつもりはありませんからっ  
勘違いしないで下さいっ



しかし...



結局私の意志は無視され、強引に服を脱がされた私は  
お風呂場に押し込まれられるがままになってしまった！

うっ……くっ……

あれ？何すかこのヌルヌルした液体は？  
もしかして俺にされるの期待してたんすか？

しっ……知りませんっ  
それよりっ……んっ……シャワーを……

シャワーとか後でいいっしょ  
せっかく菜穂さんのカラダがこんなに  
俺の事期待して待ってくれてんだから

期待とかワケの分からない事を……んっ  
もうやめっ……んんっ!!

とか何とか言ってる割にクリスツゲエカタくなってますけど？  
本当は気持ちいいんしょ？ねえ菜穂さん？どうなんすか？  
本当のとこ教えて下さいよ！ここならカメラも無いし  
本音を言っても社長にはバレないっすよ？うひひひひっ



私は夫以外の男性に無理矢理こんな事をされて心底イヤだったハズなのになぜかカラダが勝手に熱くなってきた事に驚き戸惑っていた...

やっ...もう触らないでっ!!  
したいのならしてイイから早く済ませてっ

何言ってるんすか奥さん  
せつかく社長公認で浮気する機会もらえたんだから  
俺と一緒にじっくり楽しみましょうよ?

浮気なんて私っ...やっ...あっ!!  
そこばかり触らないでっ  
あっ...ダメッ♡あああっ♡

ソコってどこっすか?俺あんま頭良くないんで  
ちゃんとやってくれないとわかんないっすけど?

そこはっ...あっ...ああダメッ!!  
クリトリスはっ...私っ...んあっ♡  
いっ...イクッあっイクッ!!



んうっ!!  
いっ...ぐうううっ!!

うひひひひっ♪  
やっぱ可愛いっすねえ菜穂さんは  
口では嫌がつてるクセに  
もうイッチやってく♪

ひいっ



んっ...くうっ!!  
今イッてるのにいっ...

遠慮しないでドンドンイッチやっていいんすよ?  
気持ちいいんでしょ?ホラホラ

んううううううううっ!!

うひひひひっ  
どんだけ溜まってたんすか菜穂さん  
ちよつとクリいじっただけで  
潮噴いてイクとかどこの淫乱女なんすか

はーっ…はーっ…違うの…  
こんな…こんなの…私っ…

なんも違わないっしょ？  
菜穂さんは旦那公認で赤の他人の俺と  
ハメまくろうとしてるんでしょ？  
そりゃ淫乱女以外にないでしょ？

それはっ…夫がどうしてもって…





じゃあ何でこんなに感じまくりなんすか？  
この乳首の勃起具合は何なんすか？  
本当はスゲー期待してたんでしょ？

違っ…ああっ♡

じゃなきゃこんな感じまくるワケ  
ねえもんなあ？

あっ…はあっ

ああっ…んあっ♡

ねえ菜穂さん…さっきも言ったけど  
ここはカメラが入って無いっしょ？  
だから本当はどうして欲しいとか  
どこが気持ちイイとかかって言っただって  
社長にはバレる事は無いんすよ？

ムニョッ

ムニョッ

ムニョッ

ムニョッ





ああっ…あっイヤッ  
ダメッ…もう止めてっ

スツゲエカラダビクビク  
してるじゃないっすか  
乳首そんなにイイんすか？

いっ…いやあっ  
ダメッ…乳首はっ  
んああああっ

くっくっくっく…  
そんなに乳首がイイんすか？  
じゃあ乳首舐められるのと  
吸われるのはどっちが  
イイっすか？

そんなのっ…知らないっ  
あああっもう止めてえっ!!

ムニョッ  
グニョッ

ムニョッ

ムニョッ

ムニョッ

ムニョッ

グニョッ

ふくん?じゃあ思い切り  
乳首吸いながら舐め回してみるか?

んひいいいっ  
いっ...くうっ!!

うっ...くううんっ!!  
んっ...ぐううっ

んっ...ひいっ  
もういやああっ  
またイクウツ!!





菜穂さんが俺の質問に正直に答えるってんなら止めてもイイっすけど？

質問!?

そう…例えば…  
さつきも聞いたっすけど  
乳首舐めると吸われるの  
どっちが好きか…とか

んんっ…それを…答えたら  
止めてくれるんですか？

質問に質問で答えるのは  
無しですよ菜穂さん？

ううっ…

さあどうします？  
このまま乳首責め続けるか  
それとも質問に正直に答えるか







うひひひひつ  
菜穂さん感じ過ぎっしょ？  
そんなに俺に舐められるの  
気持ち良かったっすか？

はーっ…はーっ…  
そ…それは…

それは何すか？  
ちゃんと答えないと  
まだまだ続けますけど？

き…気持ち良かったです…

社長に舐められるのと  
俺に舐められるのは  
どっちが気持ち良かったっすか？

そ…それは…



私が言葉に詰まって答えられずにいると  
彼は急に立ち上がって私のお尻に大きくて硬いモノを  
グイグイと押し付けながら私の耳を舐め始めた

ねえ菜穂さん…ここカメラ無いんすから  
ちやんと答えて下さいよ  
俺も誰にも言わないっすから

うううっ…くっ…  
あれえ?もしかして菜穂さん  
耳も弱いんすか?

しっ…知らないっ  
こんなのっ…んうううっ♡

知らないって…もしかして  
された事ないって事っすか?

んっ…ふうんっ♡  
そ…そう…ですっ…んんっ♡

私は初めて味わう感覚と次々に押し寄せる快感に  
何も考える事が出来なくなっていくた…



それじゃあいつもは社長と  
どんなセックスしてるんすか？  
こういう愛撫なしでいきなりとか？

そっ…そうです…んあっ♡  
いきなり「するぞ」って言われて  
それから…ああっ…入れられて…

へえ…さすが社長っすね  
会社でも仕事かなり強引っすけど  
セックスまでそんな感じなんすね

あっ♡

んあっ♡  
んあっ♡  
んあっ♡

イヤッ♡あんっ♡こんなのっ  
もうダメッ…おかしくなっちゃうっ

それにしても菜穂さん敏感っすねえ  
こんなんじや毎日イカされまくりで  
大変なんじやないっすか？体力とか

はっ…ハアッ♡それはっ…  
夫は…すぐ終わってしまうので…  
んああっ…あっ…はっ…あああっ♡



なんだ：そりやもつたいたいないつすねえ  
俺がもし菜穂さんの旦那だったら  
毎日舐めまくりでイカせまくるのに：  
って言うか今日から菜穂さんは俺のセフレだっけか？  
じゃあ俺が社長の代わりにイカせまくってあげますよ

私はセフレなんかじゃ：  
ひいっ♡いっ：ひっ：  
ダメエツまたっ：イツ：

またイクんすか？  
ホラここっすか？  
そんなにクリがイイんすか？



あっひいっ!!  
クリだめえええっ!!  
クリでイクツ：ああっ  
イクイクイクイクイクウツ!!

アッアッ  
アッアッ  
グググ

オイ二人とも風呂に入ってるのか？

私が今まさに絶頂を迎えようとしたその瞬間、  
ドアの向こう側から外出して居ないはずの夫の声  
が  
こだました…

ありや？社長もう帰って来ちゃったんすかね？  
終わったら連絡しろって言ってたのに…  
やっぱ心配だったんすかねえ？

はっ…はっ…

私…今…何を…

ホント社長もマジタイミング悪いっつーか…  
残念でしたね奥さん今スツゲエ  
気持ち良くイキそうだったのに

私は今一瞬完全に夫の事を忘れてしまっていた…  
それどころかイクのを邪魔されて怒りすら覚えていた

オイ？二人とも大丈夫か？

菜穂さん：社長に「恥ずかしいからカメラなしで二人つきりにして」って言ってもらえないっすか？

えっ!?でも...

俺の言う事聞いてくれたらさつきよりもつと気持ちいい事いっぱいしてあげますからね菜穂さん？

オイ二人とも？居るんだろ？ドア開けてイイか？

あつ...あなた待ってっ!!  
その...やっぱり恥ずかしいから...  
カメラなしで二人つきりにしてもらえないかしら？

え?...ああ...そ...そうか...やっぱり恥ずかしいか...  
...わかったよ...じゃあ俺はもう一回外に出てくるから...  
その...カメラは止めといてイイから...



夫はそう言い残すと静かにお風呂場のドアの前から  
いなくなった...

いや〜ちよつとビックリしたつすね〜  
つうか：俺の言った通り言ってくれて  
超感激っす♪

アレはその...

大丈夫っすよ菜穂さん

イク寸前で止められたら誰だって怒るし  
邪魔されたくないのは俺だって同じっすから  
つうか：社長追い返したって事は  
菜穂さんもヤル気満々って事でイイんすよね？

それは...

私は愛する夫より目先の快感を選んできました事に  
自分自身ショックを受けていた...





ホラ乳首気持ちいいんだろ菜穂  
自分の口で言ってみな

あつ…ハアツ♡  
乳首…気持ちいいですつ

よおしいぞ菜穂  
じゃあ今度は舌出せよ  
ネツチヨリ濃いキスしようぜ

やつ…キスはダメツ  
あつ…ああつ…

ああ？何だよ菜穂はキス嫌いなのか？

そつ…それはつ…好きだけど…

じゃあいいじゃねえかよ  
さっさと舌出せよホラ



私は何度もイカされた挙句に更に乳首を  
いじり続けられたせいでかなり頭がボーっと  
してきていたが最後の力を振り絞って抵抗してみた

や...やっぱりダメですっ  
キスは愛する夫だけ...



その社長がしてイイって言ったんだぜ？  
っ！か絶対キスしろって言ってたけどなあ  
菜穂が浮気相手とキスするのが見てみたいんだとさ

そんな...あの人があるんな事を...

社長言ってたぜ！本当はもうずっと前から  
菜穂を誰かに抱かせてみたかったってよ  
だから今回社長の直接の部下で超信頼されてる俺が  
この話を聞いてぜひやりたいって言ったたら  
社長スツゲェ喜んでたんだぜ？  
「お前なら安心して任せられる」とか言ってるさあ

彼は私に話しかけながら片手で乳首をつねり、  
そしてもう片方の手で私のクリトリスをいじり始めた  
私はその瞬間頭が真っ白になって何も考えられ  
なくなってしまった...

んっ...ふっ  
くうくうくうっ!!

うっ...  
くうっ♡

ホラ気持ちいいんだろ？  
だったらもうそろそろ無駄な抵抗は止めて  
素直になった方がいいんじゃないの？  
カラダはこんな反応してんだからさ

コレはっ...んんっ...

んんっ ホント強情っすね  
じゃあ...一回ベロキスしてくれたら  
後はさっさとやる事やって終わりにすつから  
一回だけマジでしようぜ？な？それならいいっしょ？



もうっっ…ほ…本当に…これ一回だから…

おおっ♪やった  
やつとその気になったのかよ  
じゃあ舌を出せよホラ

んあっ…

あっ…

ホラもつと  
舌を絡めてさあ  
キス好きなんだろう？

キスは好きだけど…  
んんっ…はっ…あっ…

なあ…社長とキスするのと俺とじゃ  
どっちが気持ちいいんだ？

んあっ…はっ…また…その質問なの？  
そんな事どうでも…

男にとつちやどうでも良くねえんだよ  
なあ？どうなんだよ？菜穂はどっちがイイんだ？



彼が執拗に夫と自分を比べようとするたびに  
私は言葉に詰まってしまふ…  
なぜなら夫は挿入して発射する動作以外は  
ほとんどしてくれないから…

わ…わからないわ…  
だって夫は…

ぐん

んん？  
もしかしてキスも  
してくれないとか？

え…ええ…

マジかよ!?!  
でも今キスが好きって言わなかったか？

それは…結婚する前の話で…最近…

ウソ…マジかよ！俺が旦那だったらあり得ねえわ  
結婚したらそれこそ一年中セックスしまくるのによ  
マジで社長変わってんなあキスも無しで愛撫も無し  
挙句の果てに寝取らせプレイとかマジ鬼畜だわ

ピチャッ

ピチャッ

ピチャッ  
スチャッ

ぐん

ぐん

それならさあ菜穂…

な…何？

菜穂が本当はしたかったけど  
今まで出来なかつたセックスを  
社長に目の前で見せてやりや  
社長も変わるんじゃない？

ええっ!?…でもそんな事…

どつちにしる今からやるんだぜ？  
だったら何か菜穂にもメリットがあつた方が  
ただやるよりは全然良くね？

それは…そうかもしれないけど…



なあ、やろうぜ菜穂、  
絶対その方がおもしろえって、

お…おもしろいって…

菜穂がしたかった事  
言ってみてくれよ、  
全力でやってやっからさ、

な…何で急にそんな事を…

そりやだ、俺はずっと菜穂の事好きだったんだから  
好きな女のしたかった事男だったら叶えてやりてえじゃん？  
しかもそれがセックスがらみだってんならもう  
マジ全力でやるしかないっしょ？  
な？どうよ？菜穂のやりたかったセックス一緒にしようぜ？



A modern, two-story building at night. The building has several vertical light strips and a window that is lit from within. A car is parked in front of the building. The sky is dark with some stars visible.

そして...

結局、彼に強引に押し切られた私は夫の前で私のしたかったセックスをしなければいけない事になってしまった！

へえ〜ほとんどした事ないって割にフェラも上手いじゃないっすか

んっ…はっ…本当に？  
これで気持ちイイの？



スゲエ気持ちイイっすよ？  
てかチンポ啜えるのが実は好きだったとか  
女にそんな事言われたら男はみんな  
泣いて喜ぶっすけどね〜普通は

そ…そうなのかしら…  
でもうちは全然させてくれないから…  
男の人はこう言うの嫌いなのかと思ってたけど…

イヤイヤ…そんなの社長位っしょ？  
男はみんなマジでフェラ好きだから

ああ…本当に夫の前で  
こんな事するなんて…

しかもこの人の大きさ…  
こんなに違うなんて…

グッッ

私は気になって彼のモノをしごきなながらふと夫の方を見てみた…すると夫の方も私の視線に気が付いたのか急に話しかけてきた

なあ菜穂…大牟田のチンポはどうだ？俺のと違うか？

え？…ええ…

どう違うんだ？

えつと…  
その…大きくて…  
凄く硬い…わ…

お前もやつぱり  
大きい方がイイのか？

ええッ!?何急に妙な事言ってるのよっ  
私は大ききなんて…

菜穂さん…もうすぐイキますけど  
顔にかけてもイイっすか？



えっ…ああ…はいどうぞ…

あれ？何かスゲエあつさりつすねえ  
菜穂さんってそういうの平気な人なんすか？

平気と言うか…その…  
あまりイヤじゃないと言うか…

ああ…あなた…そんなに  
ジツとこちらを見ないで…



へえ〜？  
じゃあ思い切りぶっかけても  
大丈夫つすね？

グツグツ

アツアツ

ええ…

じゃあイキますよつ  
イイツすか？

はっ…はい…出してっ

あまり見られていると  
段々変な気分になって  
きてしまう…



ううっ…出るっ!!  
うっ!!

ああっ…

あつ…スゴツ

ううっ…スゲエツ  
まだ出るっ!!

ああっ出してっ  
あつ…はあつ…んっ…はあつ

グッ  
グッ

アッ  
アッ

彼がようやく射精し終わった時、私の視線の先にはズボンを降ろし勃起した自分のモノを一人でしごいている夫の姿があった…

ふっスツゲエ気持ち良かったっすよ  
菜穂さんはどうっすか？  
俺の精子の味は

ああ…あの人のが  
あんなに大きくなってる…

えっ？…ええ…

少し苦いですけど…大丈夫です…

最近は全然だったのに…

そうっすか…そりゃ良かった♪  
じゃあチンポについた精子全部  
舐めとってキレイにしてもらえますか？

えっ？…あ…はい…

やっぱりこのプレイの  
せいなのかしら…

私はずっと夫と目を合わせたまま  
彼の大量に出た精子を舐めとっていった…



そして、私が彼の精子を全部舐めとり終ると  
彼は私の前にひざまずいて私のアソコを舐めはじめた

うっわ…菜穂さんコレ濡れ過ぎっしょ？  
どんだけ興奮してんすか？

ううっ…いっ…いやっ  
いちいち言わないでっ…  
んううっ!!

いやだっつ社長も見てるんだから  
分かるように言わないとダメっしょ？  
菜穂さん舐められるの好きなんすもんねえ？  
社長にももっところうして欲しいんしょ？

ひっ…いんうううっ!!  
もうイイからっ…早く入れてっ

そうっすか？じゃあ…そろそろ本番いきますか



彼が夫に目で合図を送ると夫も軽くうなずいて  
私と彼はそれを確認してからゆっくりベッドに上がった

って言うか社長…ホントに生でイイんすか？

何今更ビビってんだよお前  
俺がイイって言ってんだから  
イイんだよ

はあ…まあそれじゃ…  
菜穂さん…入れますよ？  
イイっすか？

は…はい…どうぞ

んじゃ…

あつ

ああ…入って来る…  
本当に生でするのね…  
結婚記念日に別の男の人と  
こんな事になるなんて…



私が彼に「激しく犯されるようなセックスがしたかった」と事前に告げていたからだろう…彼は一気に奥までその硬くて大きなモノを突き刺してきた

オラツどうだよ菜穂っ  
こう言う激しいのが  
してみたかったんだろ？

ああっ…あつスゴイツ  
やつ…おつ大きいっ

オラオラツ奥まで突いて  
かき回してやんぞっ

ああっダメツ  
あつ…こんなのっ

ダメじゃねえだろっオラツ  
犯されたいつつたのテメエだろっ  
気持ちイイですって言うてみるよ



ひっ…イイイッ  
気持ちっ…イイですうっ  
うっ…くううっ!!

オラッどこが気持ちイイんだ  
ハッキリ言えよっ

んんくううっ  
オツ…オマ○コっ  
オマ○コ気持ちイイッ

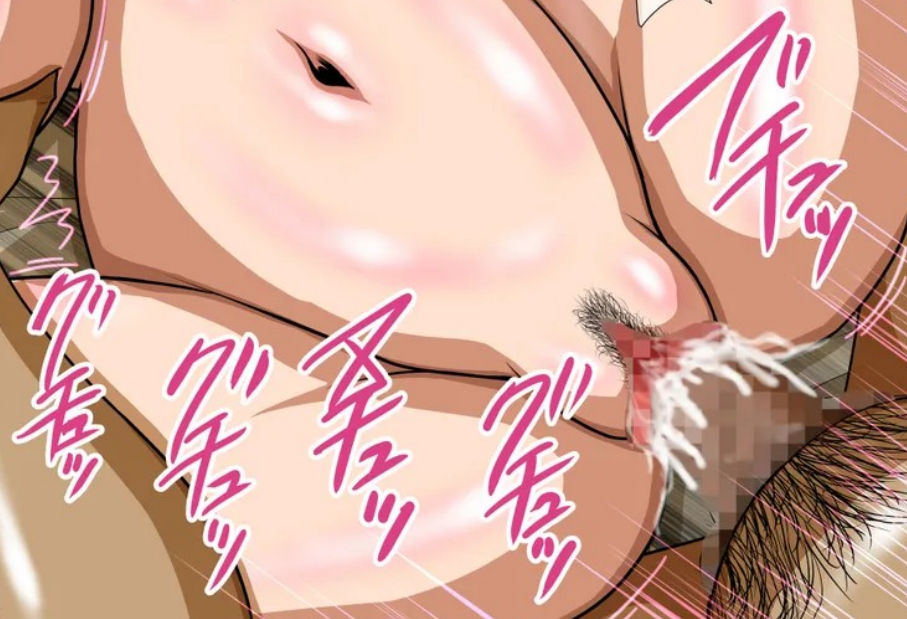
オラッもっと言えっ

ううっ…ダメエツ  
オマンコツイクウツ



んぐううううっもうダメエツ  
出してえっ…んっ…ううっ  
オマ○コイツクウツ!!

オラッこつちもイクぞっ  
イイかつ出すぞっ





ううっ…出るっ!!

んんっ!!

うっ!!

イグツ

いっぐう  
ううううっ!!

おおくスゲー締まるう〜♪  
メツチャ気持ちいいよ菜穂さんのマ〇コ  
菜穂さんはどうよ？

あっはああああああ…  
ダメツ…あつままたっ  
イグツ♡あつ…いぐうっ

うひひひひっ  
一発出しただけで  
イキまくりじゃん  
菜穂さんエロ過ぎっしょ

ああっ

おっ…オイ大牟田ちよつとどけっ

えっ!?社長もやるんすか?



私は何が起こったのかわからなかった  
どうして膣内に硬いモノが入っているのに  
目の前にもう一本それがあるのか…

そんなに大牟田の  
チンポがイイのか？

えっ!? 何っ!?  
ウソッ…あなた!?

やっ

止めてあなたっ  
そんなに強くつかんたら  
痛いわっ

乱暴に犯されたかったんたろ?  
だったら俺が犯してやるって  
言ってたんだよっオラッ!!



オラッお前の好きな  
精子だぞっ

あなたっ…

あっ!?

ああっ…  
いやっ…

あっ…ああっ…





はあっ…はあっ…

あっ…あなた？

菜穂…正直に答えろ  
大牟田のチンポは気持ちイイか？

ええ!?…それは…  
はい…気持ちイイです

俺のより気持ちイイか？

それはっ…

答えろ菜穂

は…はい…気持ちイイです…  
ごめんなさいあなた…

私がそう言った瞬間、私の膣内なに入ったままだった大牟田さんのモノが急に大きくなり、そのせいで私は夫の目の前でイカされてしまった…

んああっイクツ♡  
あっ…ああっ

ちっ…そんなに大牟田が  
イイなら好きにしろっ

んあっ♡

オイ大牟田：俺はまた外に出てくるから  
菜穂はお前の好きにしてイイぞ  
何なら今晚は泊まってくがイイさ  
俺は今夜は帰らんつもりだからな

えっ!? ああ…はい分かりました  
じゃあありがたく泊まらせて頂きますっ



そうして夫は大牟田さんと繋がったままの私を残して  
そのまま部屋を出て行ってしまった...

まあそういう事  
らしいんで

いやっ...  
何するつもりっ!?

何するも何も...  
このまま力いっぱい  
菜穂さんを犯そうかなと

えっ...だってもう  
一回出したじゃないっ

社長の話聞いてなかったんすか?  
今晩は菜穂さんを俺の好きにして  
イイって言われたんすよ?

そんなっ...

菜穂さんだってもっとやりたいっしょ?  
俺のチンポ社長のより気持ちイイって  
さっき言ってたっすもんねえ?

ダメツ...コレ絶対ダメだわっ  
これ以上コレでイカされたら  
私絶対ダメになるっ

ああうそっ...また腔内<sup>なか</sup>  
大きくなってきてるっ...



それはその：聞かれたから  
答えただけで意味はないの  
だから：今日はもう  
終わりにしない？

いやそれは無理っしょ  
こんなにチンポ締め付け  
られたら気持ち良すぎて  
抜くに抜けないっすよ

そんな事言わないで：ね？  
また今度：そうまた今度  
機会があつたらその時は  
大牟田さんのして欲しい事  
何でもしてあげるから  
だから今日はもう：

マジっすか？  
ウソじゃないっすよね？

えっ!?...ええ...本当よ  
だからもう...

いやっ：どんだん奥に  
入って来てるっ

ダメエツ：話しながら  
奥をグリグリしないでっ  
頭が変になっちゃうっ

あっ：ああっダメッ...  
何コレッ!?奥が：!?!  
奥の方が段々熱くなつて  
何か響いてくるうっ...

今菜穂さんが言った事全部ビデオに撮影されてるっすからね  
絶対約束は守ってもらうっすよ? イイっすね?

わ...わかったから...早くコレを...

それじゃあこれからも  
よろしくお願いするっす

えっ!?

朝まで犯しまくって  
菜穂さんのマ○コに  
俺のチンポの形を  
覚えさせてやるっすよ

やつ…ああつ!!

あつ  
はあつ

オラツ  
しつかり覚えろよつ  
コレがお前が大好きな  
チンポの形だぞ菜穂つ

ああつ止めてつ  
あつ…ああダメエツ

こんだけ締め付けといて  
何言ってるんだよつ

本当は気持ち良くてしようがねえんだろつ  
オラツ本当の事言ってみろよ菜穂つ





ひっ…イイツ!!  
ダメエツ気持ちイイから  
もう突かないでえっ  
くくく

どこがイイツて?

奥っ…んっううっ  
奥まで強く突かれると  
おかしくなっちゃううっ

奥?  
奥に強くか?

そっ…そうっ  
だからもうっ…んううっ  
うっ…くうっ!!  
ダメエツイクウツ!!

イイぞイケッ  
このまま中出して  
イカせてやるっ

いやあっイグウツ  
ひっ…イイツ♡  
イクイクイクイクイクウツ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ



んっ!!

うっ!!

んっ!!  
イグツッ♡

んっ!!

んっ!!

んっ!!

んっ!!

んっ!!

ああつ…あつ  
はっ…はああああ…

ああつ…  
まだ…出てるう…

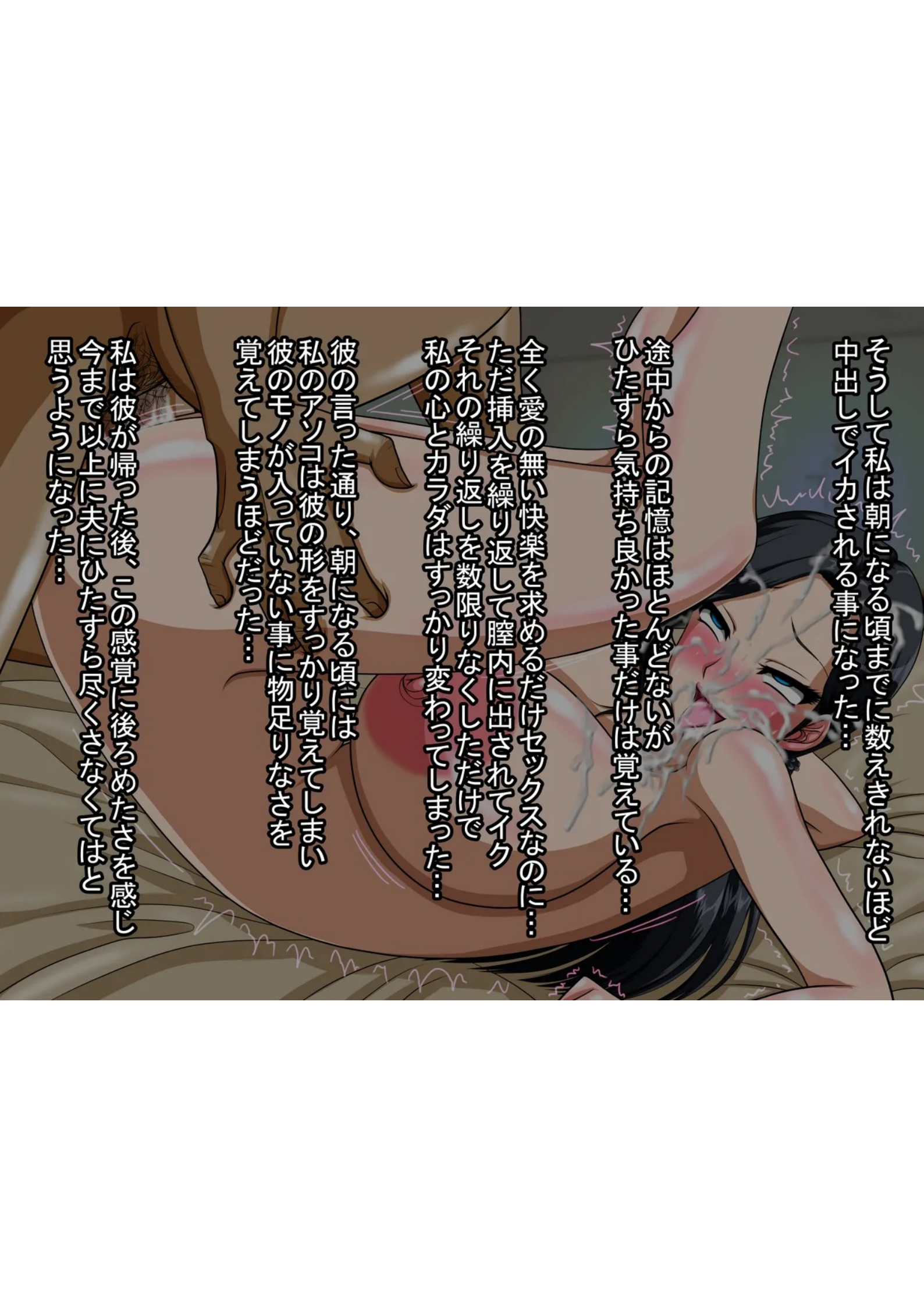
こんなもんじゃねえぜ？  
朝までにお前の子宮を  
俺の精子でいっぱい  
してやるから覚悟しとけよ

ああつ

だめえ…  
こんなに出されたら  
赤ちゃん出来ちゃう…

うひひひひつそんな時は  
菜穂は俺がもらってやつから  
安心して孕んどけよ





そうして私は朝になる頃までに数えきれないほど  
中出しでイカされる事になった…

途中からの記憶はほとんどないが  
ひたすら気持ち良かった事だけは覚えている…

全く愛の無い快樂を求めただけセックスなのに…  
ただ挿入を繰り返して膣内に出されてイク  
その繰り返しを数限りなくしただけで  
私の心とカラダはすっかり変わってしまった…

彼の言った通り、朝になる頃には  
私のアソコは彼の形をすっかり覚えてしまい  
彼のモノが入っていない事に物足りなさを  
覚えてしまうほどだった…

私は彼が帰った後、この感覚に後ろめたさを感じ  
今まで以上に夫にひたすら尽くさなくてはと  
思うようになった…

A modern, two-story building at night. The building has several vertical light strips and a few windows, one of which is illuminated from within. A white car is parked in front of the building. The sky is dark with some stars visible. The overall scene is dimly lit, with the primary light sources being the building's interior lights and the light strips.

そして次の日の夜…

ああっあなたスゴイわこんなに硬くなって…  
どう？コレ気持ちイイ？

菜穂：お前騎乗位なんて今までしなかったクセに  
もしかしてコレも大牟田に教えられたのか？

せつ：せつかくこんなに勃起したんだから  
今は私のマ○コで気持ち良くなる事だけ考えてよ  
ね？あなた♡

クソツやっぱり…  
大牟田のヤツツ

あつ  
スゴイツ

うっ…くっ…

ああ…あなたの<sup>なか</sup>が膈<sup>なか</sup>内で  
スゴく大きくなってるわっ  
ねえ私のマ○コ気持ちイイ？

クソツ…ダメだもう出るっ!!

ズボッ  
グッ  
グッ  
グッ



うっ…くっ!!

あっ…

うっ…くっ…うっ!!

くっ…

あなた…大丈夫?

もしかしてイッたの?

はっ…はっ…ああ…イッたスゲエ良かったぞ…菜穂…

そ…そうなの? なら良かったけど…

えっ!?…うそ…コレ…もう出てる…?こんなに早く!?

まだ入れたばかりなのに…やっぱこの人は普通よりセックスが淡泊なのかしら…

それにしてもやっぱり寝取らせプレイの効果抜群だな  
お前がアイツに抱かれてるの思い出すだけで  
すぐ勃起しちゃう位だからなあ

そ…そうね…

お前もアイツに散々イカされてたけど

どうだったんだよ本当のところは？

たまには他の男と寝てみるのもイイとか  
思わなかったか？

私は…プレイの事よりあなたが  
怒って出て行っちゃった事の方が  
ショックだったわ

あああ…私の膣内なかで  
この人が小さく  
なっていく…

前からそうだったけれど  
やはり一回出しただけで  
終わりなのね…

大牟田さんだったら…  
きつと何度射精しても  
大きくて硬いままで…  
私が気絶するまで  
犯してくれるのに…

あなたが抱かれろって言うからそうしたのに  
それを見て怒るなんて…

まあな…あの時はマジでムカついてたからな…  
だから今度は俺は立ち会わねえようにするわ  
俺はお前らが終わるのを外で待つ事にする

えっ!?今度ってどういう事?

どういふも何もお前が大牟田と約束したんだろ?  
今度は大牟田のしたい事を何でもしてあげるとか...  
今週の週末の土日って聞いているが...違うのか?

うそ...あれは一方的で  
約束なんかじゃ...

えっ...あの...確かに  
言った事は言ったけど...

しかも...今週末って...  
そんなに早く?どうしよう...  
もしかまたアレで犯されたら  
私きつともうあの人から  
離れられなくなってしまう...

じゃあそういう事だな

っーかお前の方からこの手の話に

積極的になるとかビックリだな

まあ俺的にはお前を寝取られた後に

抱く方が燃えるからイイけどな

ああ...どうしたら  
いいの私...私...

A modern, two-story building with a grey brick facade and several windows. A white car is parked in front of the building. The text 'そして週末...' is overlaid in the center of the image.

そして週末...

結局私は大牟田さんとの約束を断れずに  
この日を迎えてしまったのだった…

スゲー♪ちゃんと俺のドレス着てくれてたんすね♪  
マジ感激っすよ♪うれしいなあ♪

い…いらっしやいませ…

ああっ…ダメだわ私…  
この人の顔を見ただけで  
あの夜を思い出してしまっ



いや〜約一週間ぶりっすかね〜？  
スゲー待ち遠しかったすよ〜  
菜穂さんはどうでした？この一週間は？  
聞くとところによるとあれから社長と毎晩  
やりまくりだったらしいじゃないっすか〜♪

…玄関で立ち話もなんですから…  
とりあえず奥へどうぞ…

ダメツ…こうして  
普通に話していても  
濡れて来てしまっ…

うひひひっそれもそうっすね〜♪  
じゃあお邪魔しますね〜♪

ああ…やっぱり  
私のカラダはもう…

大牟田さんは夫が既に外出した後だと知ると私のドレスをいきなり脱がして既に濡れていた私のアソコを舐めはじめた

いひひひひつ俺はちやーんと分かってたんだぜ菜穂？お前が俺の顔見ながらこの前の事を思い出してマ○コを濡らしてた事くらいよお

そんなっ…あっ…どうしてっはあっ♡ダメッ…ソコッ♡

ああんっ

お前の目が言ってるんだよ俺のチンポが欲しいってなあ？そうだろ？なあ菜穂？もう今すぐハメてまたこの前みたいメチャクチャに犯されてえんだろ？

そっ…そんな事思っ…ああああダメッ…あっ…いやあっ♡あんっ♡

まったく往生際が悪い女だなテメエはヨオこんだけマ○コヌルヌルにしといてまだそんな事言うのか？ああ？



彼は私をベッドに四つん這いにさせると後から一気に奥深くまで肉棒を突き刺し腰を打ち付けてきた

オラツコレがイイんだろっ社長のよりイイんだろっ!?

あっ!!

ああっ...あっコレスゴイツ♡奥に来るうっ!!

オラツイイかつ

ああっダメツあっハアツ♡

あっ

あああっイツちやううっ!!あっあっはあああああっ!!







っはあああああああっ!!

あっ

くうっ!!

うっ!!



オラツもつとマ○コで  
精子絞り出せよっ

あつ♡  
ああつ…

出てるうっ♡  
あつ♡スゴイイツ♡

オラツ  
まだ出るぞっ

あつ

はあんっ♡  
もつと出してえっ♡  
出しながら突いてえっ



この日から私と彼は本当のセラフレになった…

その事はもちろん夫にも告げたが  
最初驚いて複雑な表情をしていた夫は  
絶対に離婚しないという条件で  
これを認めてくれた…

そうして夫公認でセラフレとなった私と彼は  
最低でも週一回は会うようになった

もちろん彼と会った後は  
当然夫に抱かれる事が多いのだが  
やはり夫はすぐイッてしまう為  
私は夫に抱かれるたびに欲求不満が募っていった…

私は例えセックスが合わなくても  
夫との間の愛は変わらないと思っていたが  
もはや彼に乱暴に犯される事では  
喜びを感じる事がなくなってしまった事で  
夫への愛情も徐々に感じ無くなっていった…

そしていつしか私と彼は夫に内緒で  
私の家以外の場所で頻繁に会うようになっていき…

今日も私は…

やっ…ダメよっ…私行かないと…  
寝室であの人が待ってるから…

いひひひひつ  
ホント社長も社長だけど  
お前も相当おかしいよなあ

あっ…  
クリはダメだって  
イツちやうからっ

もうお前が社長の事なんか愛してねえ事なんか  
社長はお見通しなんだぜ？  
それでもハメられに行くのかよ？

そっ…それが約束だもの…  
あの人はあの人をもうどうでもイイと  
思ってる私を犯すのが生きがいなのよ

うひひひひつそりや傑作だな  
それじゃあまあ精々適当にハメられて来いよ



で…でも…あの人がすぐ終わっちゃうから  
その後は…その…何処かで食事でもして…

ああ…わかってるぜ？  
メチャクチャに犯して欲しいんだろ？

ええ…あの人のを  
忘れるくらい犯して…

まかしとけって  
気絶するまで突きまくってイカせまくってやんぜ  
お前らが終わるまでここで風呂につかっているからよ  
さっさと社長イカせて帰ってこいよ

ええ…すぐ済ませてくるわ

ビチャッ  
ビチャッ  
ビチャッ  
スチャッ

ビチャッ

ビチャッ



そして私は、彼から貰ったこのドレスを着て  
今は夫に犯されに寝室へ向かう…  
なぜなら、夫はこのドレスを着た私を見ると  
異常なほど嫉妬に狂い興奮して勃起するから…

それじゃあ…  
ちよつと行って来るわ



すぐに戻って来るから  
待っててねあなた♡

そして私自身も、この状況に興奮していた…  
私を犯そうとする二人の男のチンポを  
私の膣内なかで感じる事が出来る幸せに…

END

# 寝取らせられた巨乳若妻

～愛する夫の頼みで他人に抱かれ中出しされる美人妻～

2016年2月6日デジタル発行

著者 : speed

発行 : Go! Go! Heaven!!

URL : <http://go-go-heaven.com/>

当作品についての不具合については  
ダウンロード会社までお願い致します。

本作品の内容はすべてフィクションです。  
実在の人物・団体・事件などは一切関係ありません。

本作品の画像及び文章の著作権は  
すべてspeedに帰属します。  
また、本作品の画像及び文章の無断転載及び  
共有ソフト、アップローダー等への使用は  
固くお断りいたします。







